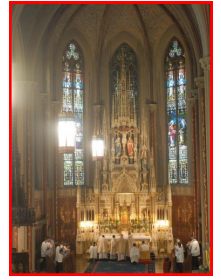




聖サレジオのフランシスコ

2014年 3月



今日、私たち至るキリスト宣教会の守護聖人であるサレジオの聖フランシスコに思いを馳せたいと思います。

聖フランシスコは1567年にフランスのサボイアに生まれ、1622年に亡くなりました。

1661年に列福、1665年に列聖されました。そして、1877年には教会博士であると宣言されました。

聖フランシスコの地上での生命は終わりました。しかし、イタリアのトレビソにある訪問修道会で、奮闘することないその心臓が、フランス革命以来崇拜の対象となっています。



聖フランシスコの心臓は大切に聖箱に入れられ、愛のシンボルとなって、宣教に尽くして偉大な聖人の多くの使徒的活動に命を吹き込みました。聖フランシスコは生前、その教えて3万から4万の人たちをカトリックへと導きました。

その主要な著書である「信心生活の入門」や「神愛論」を通して、聖フランシスコは今なお私たちを導いてくれています。

聖フランシスコの教えは神の愛に基づいています。そして、聖フランシスコの心臓が今でも腐敗することなく保たれているという奇跡によって、神はその教えを確かなものとされたのです。

「心」という言葉はまず、身体的な心臓を思い起こさせますが、それは単に臓器としてだけでなく情緒的、道徳的な生き方にも密接に関係していることを、私たちは漠然と理解しています。またこの体の一部としての心は、情緒や道徳的生活の象徴として受け止められています。そのため私たちは「心を開く」とか「心を与える」といった表現をよく使うのです。

神はこの心の象徴をもう一つの奇跡で確かなものとされました。

サレジオの聖フランシスコと聖ヨハンナ・フランシスカ・ド・シャンタルが共同で設立した訪問修道会のシスターだった聖マルガリタ・マリア・アラコックにキリストのみ姿が現れました。み姿の出現は1673年12月27日に始まり、連続して1年半にも及びました。

その中でキリストは、「御心の信心」を広げるための道具としてマルガリタをキリストご自身が選ばれたことを告げられました。そして「初金曜日の祝い」と「聖時間」として知られることとなる奉獻に尽くすようマルガリタを導かれました。

御心がイエスの愛と情緒的、道徳的な生き方を象徴し、それを思い出させるものである限り、イエスの御心への崇拜は正しいものであると言えます。

聖パウロはその美しい書簡(この箇所はイエスの御心の祝日と同じものです)の中で、私たちはイエスの御心にもっと入り込み、イエスの計り知れない豊かさを深く思い、神の永遠の真理から隠されていた神祕に深く入っていかねばならないと言っています。これが、一度は私たちの前ですべての

永遠の真理から失われていましたが、肉となった言葉によって私たちに現された、永遠の神の愛の神祕なのです。聖書にこう記されています。「わたしはあなたに憐みをかけ、あなたを愛した。」そして「子よ、あなたの心をわたしに与えなさい。」これはイエスの御心への真の奉獻の本質です。



「愛のために愛を返し、愛で愛を報いなさい。」私たちはこの永遠の愛を受け入れなければ、神の子が人になり、私たちを救うために十字架で死に、そしてご聖体として私たちの食べ物とされた神祕を到底理解することはできないでしょう。

私たちがどんな心構えて霊的な生活を送るかは、私たちが神のことをどう考えているかに大きくかかってきます。聖フランシスコにとって神の愛は純粹な隣人愛と切り離すことはできません。聖フランシスコは言います。「自然な人間愛によって動かされる人たちの思いは愛するものにほとんど完全に縛られ、その心はそのものへの情熱に満ち、その口はそのものへの賞賛であふれている。もしその愛するものが失われると、彼らはその気持ちを文字で表そうとし、木の幹にその愛したものの名を彫ることなしにそ

の木を通り過ぎることができない。同じように、神を愛する人も神について考えることや、神にあこがれること、神を熱望し、神について語ることをやめることができない。できることなら、人類すべての心にイエスの名を刻むであろう。」



神の愛について大切なのは祈りです。「黙想のうちにあなたの目を神に向けるならば、あなたの魂全体に神の愛が満ちあふれる。あなたの祈りのすべてを、神がおられるところで始めなさい。」

忙しくしている世界中の人たちに聖フランシスコはこう忠告します。「どんな時でも、例えそれが対外的にはほかの人との話し合いや取引の途中であっても、あなた自身の心の静寂を保つよう身を引きなさい。そして神に語りかけなさい」

聖フランシスコは、誰かを裁いたり、人の陰口を言って回ることが最悪の罪であると信じていました。そういう行動が愛によるものだと言ったとしても、それは私たち自身を良く見せるためにやっていることなのです。しかし私たちは、自分自身にやさしくするように、また自分を許すように、人にもそうあるべきなのです。



この神の愛に基づく霊性は決して失われることはありません。聖フランシスコの神への全き信仰、心の平衡感覚、神への信頼に基づいた楽観的な見方、そして力強い愛徳の精神を受けて多くの人が教会に身を捧げることとなります。中でも最も優秀で卓越していたのがサレジオ会の創始者、聖ヨハネ・ボスコ(ドン・ボスコ)です。

サレジオの聖フランシスコの教えは信仰生活への確かな案内書です。教会は次のように言っています。「神の教義にあふれる聖フランシスコの著書は、教会の輝く光であり、キリスト者が完全な信仰生活に到達するための簡単で安全な方法を指し示している。」

みなさん、全幅の信頼を寄せて、サレジオの聖フランシスコが絶えず永遠の救いに導いてくださるよう、祈りを捧げましょう。



ラファエル植田勝行神父の米国での住所

St. Francis de Sales Oratory

2653 Ohio Avenue

Saint Louis, Missouri 63118

王たる宣教会のホームページ<<http://icrsp-jp.org>>

Email: sfds@institute-christ-king.org

ご自身を完全に捧げられたことで、従順であることがその死を神への最も尊
いいけにえとすることができたのです。

イエスに従うことは十戒に従うことになります。旧約の律法は無効になった
のではなく、人はむしろ、ご自身で完全に体現され、その完全な意味を表さ
れ、永久に続くその価値を証明された聖なる方の中に、律法を見いだすよう
招かれているのです。

十字架の死によって、イエス・キリストはすべての生き物が従順であるため
の権利を得ておられます。キリストを通して、そしてキリストの福音と教会からの
出る言葉に従順であることで、人は信仰を持って神に近づくことができるの
です。キリストは神に仕えるのでなければ決して他には従われませんでした。
ですから私たちも必要であれば、不当な命令は拒絶することができますし、
人より神に従うことができます。

みなさん、自信を持ってイエスに従い続けましょう。そして、お互い慈悲と優
しさ、謙虚さと慎み深さ、そして忍耐を身にまとい、お互いを許し合いましょ
う。
アーメン。

ラファエル植田勝行神父の米国での住所

St. Francis de Sales Oratory

2653 Ohio Avenue

Saint Louis, Missouri 63118

王たる宣教会のホームページ<<http://icrsp-jp.org>>

Email: sfds@institute-christ-king.org